

目利きと鑑定

平成21年 11月18日(水)～12月13日(日)

財産でもある美術品の多くには、価値を保証する鑑定書が附属しています。大名道具に含まれる品々にも、必要に応じて作られたさまざまな形式の鑑定書が添えられています。大別すると、重要な儀礼の一つであった贈答に際して逃えられたもの、作者や産地を特定したもの、茶人が自らの感性で選んだ品にその旨を書き付けたものなどがあります。

尾張徳川家の伝世品から、江戸時代の鑑定書の種類や性格、鑑定にあたった人々について紹介します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)
<u>刀剣の鑑定</u>			
1	短刀 金象嵌銘 貞宗スリ上 本阿(花押) 徳川家綱下賜・徳川綱誠(尾張家3代)拝領	鎌倉-南北朝	14
2	短刀 朱銘 タハマ(花押) 紀伊徳川頼宣・徳川綱誠(尾張家3代)所持	鎌倉	14
3	本阿弥光温折紙 寛永二十年十二月三日 刀 無銘 兼光 徳川宗勝(尾張家8代)所持	江戸 南北朝	寛永20年<1643> 14
4	本阿弥光室折紙 元和七年六月三日 短刀 銘 吉光 徳川綱吉下賜・徳川綱誠(尾張家3代)拝領	江戸	元和7年<1621> 13
5	脇指 無銘 雲生 本阿弥光常折紙 元禄十年八月三日	江戸 鎌倉-南北朝	元禄10年<1697> 14
6	本阿弥光温折紙(名物 戸川志津)寛永二十年正月三日	江戸	17
7	本阿弥光温折紙(刀 無銘 金重)寛永四年霜月三日	江戸	寛永20年<1643> 寛永4年<1627>
<u>刀装具の鑑定</u>			
8	梨子地刻小サ刀拵(刀 無銘 名物 南泉一文字) 徳川慶勝(尾張家14代)所持	江戸	19
9	後藤顕乗折紙(獅子二疋連凶目貫)寛永三年六月七日 獅子楊梅凶三所物 銘 程乘(後藤家9代)光孝(同13代)(花押)	江戸	寛永3年<1626> 17
10	後藤光孝折紙 宝暦十四年六月七日 野沓凶二所物 筭:無銘 宗乘(後藤家2代) 目貫:休乘	江戸	宝暦14年<1764> 16-17
11	後藤顕乗折紙 寛永四年八月七日 竹に鶏凶四分一鐔 銘 程乘(後藤家9代)作 光孝(同13代)(花押)	江戸	寛永4年<1627> 17
12	後藤光孝折紙 明和元年八月七日 綱牛凶小刀柄 無銘 徳乘(後藤家5代) 後藤家直段書付	江戸 桃山-江戸	明和元年<1764> 16-17 19
<u>古筆の鑑定</u>			
13	古筆手鑑「文車」	奈良-江戸	8-17
14	端溪五星硯 銘 山井 小堀遠州箱書	明	15-16
<u>絵画の鑑定</u>			
15	源氏物語絵巻旧装幀・旧箱 折紙・極札(国宝 源氏物語絵巻)	江戸 江戸	17-18 18-19

No.	名 称	時代	世紀(年号)
16	石清水八幡遷座縁起絵 伝巨勢有家筆 住吉広行折紙	重文 鎌倉	14
17	山水図 張路筆 狩野探幽・尚信・安信 連署折紙	明 江戸	16 寛永17年<1640>

茶道具の鑑定

18	唐物筋釣付茶入 小堀宗中箱書	明	16
19	唐物茶入歌銘 養老 玄々斎宗室箱書	元	14
20	黒漆塗四方盆(シャム) 石井常知書付	明	16
21	井戸四方鉢 伏見屋甚右衛門(亀田宗振)書付	朝鮮王朝	16

殿様の目利き

22	溜塗四方盆(松の木盆) 成瀬正虎(犬山成瀬家2代)献上品 名物 粕谷常斎添状(文政九年水戸中納言斉脩御覽一件)	室町 江戸	16 19
23	古瀬戸瓢形德利 銘 友鶴 徳川宗勝(尾張家8代)所用	桃山	16

以上

特別展示 『源氏物語』の世界

紫式部によって著された『源氏物語』は、今からおよそ千年前の平安時代に成立しました。その成立以降現在にいたるまで、わが国を代表する古典として読み継がれ語り継がれ、数多くの写本や、梗概書や注釈書・研究書なども多く記されてきました。また各時代にわたり絵画化が試みられ、調度品や衣服などにも『源氏物語』にちなむ意匠が凝らされました。

この名古屋の地には、国宝「源氏物語絵巻」や重要文化財「河内本源氏物語」をはじめ、国宝「初音の調度」をはじめとして、全国的に見ても『源氏物語』にゆかりのある古書籍や絵画、工芸品などの作品が数多く伝えられています。

このコーナーでは、『源氏物語』にちなむさまざまな作品を取り上げ、その享受の一端をご紹介します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)	所蔵者
1	源氏物語 竹河(別本系) 伝藤原為家筆	鎌倉	13	*
2	源氏物語 総角(河内本系)	鎌倉	13	*
3	源氏物語 浮舟 伝藤原為家筆	鎌倉	13	*
4	花屋抄 花屋玉栄著 徳川光友(尾張家2代)蔵書 4冊	江戸	慶長8年<1603>	
5	源氏物語絵巻(模本) 上巻 住吉広行筆	江戸	18-19	
6	源氏物語絵巻 現状模写 田中親美筆 3巻の内	昭和	昭和10年<1935>	
7	源氏物語絵巻 現状模写	現代	平成17-20年<2005-2008>	
8	源氏物語絵巻 復元模写 桜井清香筆	昭和	昭和33-38年<1958-1963>	
9	源氏物語絵巻 木版模本 川面義雄作	昭和	昭和17-38年<1942-1963>	
10	源氏物語絵巻 復元模写	現代	平成15-17年<2003-2005>	

以上

* は名古屋市蓬左文庫蔵、その他は徳川美術館の所蔵です。

出陳リストの番号は展示順を表していません。

作品の保存のため、展示作品および展示期間を変更する場合があります。

江戸の歴史書

尾張藩社会と秀吉

平成21年 11月18日(水)~12月13日(日)

<歴史>が多くの人々によって意識されるようになる端緒は江戸時代に求められます。幕府や藩によって江戸前期から歴史を記録する施策がなされていました。出版の盛況によって人々が書物に触れる機会も増えました。特に18世紀以降には社会の多様な階層が<歴史>への関心を深めていったのです。本展では、さまざまな<歴史>書を紹介しながら、特に、豊臣政権を超克することで成立した徳川の時代に豊臣秀吉がどのように認識されていたのかという点に着目しつつ、<歴史>の創られ方についても考えていきます。

No.	名 称	著者	成立	冊数	時代	世紀(年号)
1	三河物語 下ノ下巻	大久保忠教著	元和8年<1622>奥書		江戸	17
2	当代記	松平忠明著	江戸初期成立		江戸	19
3	豊鑑	竹中重門著	寛永8年<1631>成立		江戸	19
4	家忠日記 増補追加	松平忠冬著	寛文8年<1668>跋	7冊の内	江戸	19
5	豊臣通紀	松平忠冬著	貞享4年<1687>序	48冊の内	江戸	17-18
6	本朝通鑑	林羅山・鷲峰著	寛文10年<1670>序	145冊の内	江戸	17-18
7	戴恩記	松永貞徳著	17世紀半成立	2冊の内	江戸	19
8	武家閑談	木村高敦著	享保6年<1721>序	7冊の内	江戸	19
9	長久手記		延宝3年<1675>奥書		江戸	享保12年<1727>
10	長久手御合戦図		江戸中期成立		江戸	18-19
11	尾州長久手戦場之図		江戸中期成立		江戸	18-19
12	読史余論	新井白石著	正徳2年<1712>成立	2冊の内	江戸	19
13	読史余論	新井白石著	正徳2年<1712>成立	3冊の内	江戸	19
14	日本外史	頼山陽著	文政10年<1827>序	22冊の内	江戸	19
15	絵本豊臣勲巧記		安政4年<1857>-明治15年<1882>	年刊		
16	成功記	徳川義直著	江戸初期成立	80冊の内	江戸	19
17	塩尻	天野信景著	江戸中期成立	18冊の内	江戸	17
18	張州雑誌	内藤東甫編	江戸中期成立	67冊の内	江戸	19
19	尾張志	深田正韻等編・小田切春江等画		100冊の内	江戸	18
20	尾張名所図会	前編 岡田啓・野口道直等編 森高雅・小田切春江等画		61冊の内	江戸	天保15年<1844>
21	尾張名勝志	伊藤随庸著	享保7年<1722>序	7冊の内	江戸	天保15年<1844>
22	張州府志	松平君山・千村伯斎著		4冊の内	江戸	19
23	尾張名所図会	前編 岡田啓・野口道直等編 森高雅・小田切春江等画		26冊の内	江戸	宝暦2年<1752>
				5冊の内	江戸	天保15年<1844>
24	長久手図		江戸中期成立		江戸	天保15年<1844>
25	長久手之図(長久手古戦場図)		江戸中期成立		江戸	天明6年<1786>
26	長久手之絵図		江戸中期成立	2枚の内	江戸	18-19
27	長久手附近図		江戸中期成立		江戸	18-19

すべて名古屋市蓬左文庫所蔵。